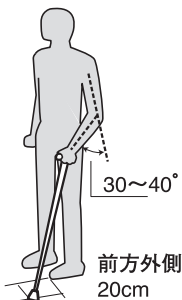


## 正しい長さの選び方

杖の先端を、足先の前外方向20cmに置いた時、肘の角度が30～40度になる長さが、使い易い長さの目安です。



下表は身長と杖の長さの参考数値です。一つの目安としてご利用ください。

## 身長と杖の長さ参考数値 cm

身長	杖の長さ	身長	杖の長さ	身長	杖の長さ
140	72	154	79	168	86
142	73	156	80	170	87
144	74	158	81	172	88
146	75	160	82	174	89
148	76	162	83	176	90
150	77	164	84	178	91
152	78	166	85	180	92

## 折畳み 取扱説明書

この度は当社製品をお買上げ頂き、ありがとうございます。

- ★本製品を正しく安全にご使用頂くために、この説明書は必ずお読みください。
- ★内容をご理解頂き、記載の危険、注意事項をお守りください。
- ★いつでもご覧頂けるように大切に保管してください。

●この説明書には

## 1.長さ調節ができるステッキ

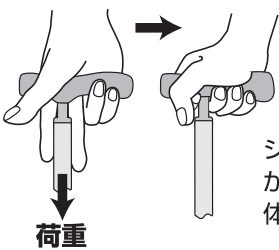
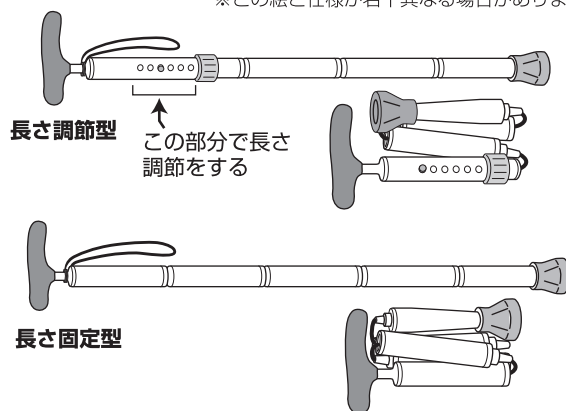
2.長さが固定されているステッキの2種類の取扱説明があります。ご購入頂いたステッキのタイプをご確認の上、この説明書をお読みください。

●このステッキはタウンユースの歩行補助を目的に設計製作されています。

**ハイキング・山歩きには使用しないでください。**

●この取扱説明書の他にも、説明書やタグが付属している時は、それらと一緒に**保管**をお願いします。

※この絵と仕様が若干異なる場合があります。



## グリップの正しい握り方

シャフト中心に荷重がかかるように、グリップ全体を握ってください。



グリップの一部分だけを握ると、荷重が偏り非常に**危険**です。思わぬ事故につながる恐れもありますので、絶対にしないでください。

収納時に  
継ぎシャフトが  
抜けにくい時は

地面に向かって軽く2～3度叩いてから、抜いてください。簡単に抜けます。



## アフター・サービスについて

この製品や部品の修理等については、お買上げ店にご相談ください。修理の際には改良品や、同等の代替品を使わせて頂くことがあります。

## ⚠️ ご注意!

この杖は、杖を持たなくても自立歩行できる人が、より安定した歩行をするために、補助的に使用するものです。

次のような方は**危険**ですので**使用しないでください**。

- 1.杖が無くては歩行できない人。(手摺りなどに伝わらなければ歩行できない人や、介助者に手伝わってもらわなければ歩行できない人など)
- 2.リハビリ中などのように、**体重の一部を支えないと歩けない人**。ただし、医師などの指導の元で使用する場合はこのかぎりではありません。

※購入後に上記のような症状が出た場合も使用は中止してください。

※杖に頼りすぎると肩や手を傷める恐れがあります。また転倒などから大事故につながる危険もあります。

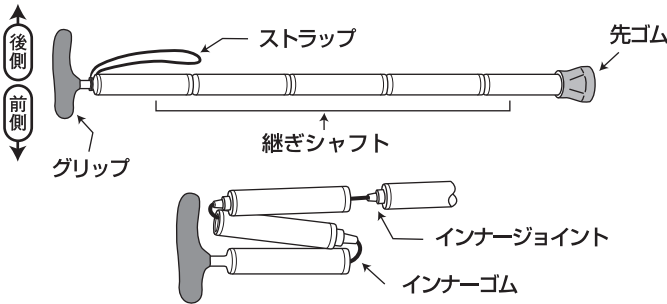
本製品について、お気付きの点や不明点がございましたら、気軽に下記までお問い合わせください。



## 危険!

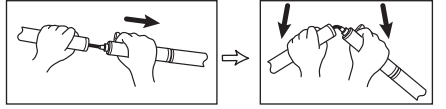
1. 折り畳んだ継ぎシャフトは、使用時、ゴムの張力で自力接合されます。ステッキを取出す時は、周囲に注意し、安全な方向に向けて広げてください。また、指などを挟まないようにご注意ください。
2. インナージョイントが、継ぎシャフトに確実に挿入され、ガタツキが無いことを確認してからご使用ください。

### 長さ固定型 各部の呼称と使用方法



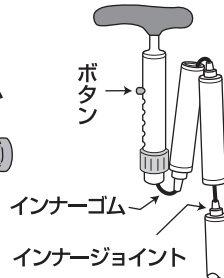
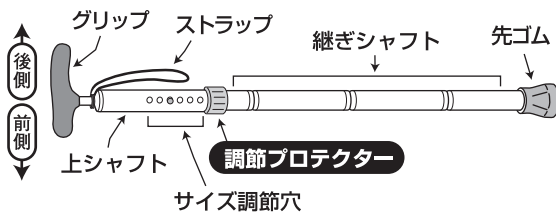
### 収納方法

シャフトの一方を引っ張ると、インナーゴムが伸び、インナージョイントが外れます。そのまま各シャフトを折曲げ、ヒモ等で固定、あるいはケースに収納します。



※モデルによっては図と若干異なる場合もあります。また、改良等のために仕様変更になる場合もあります。

### 長さ調節型 各部の呼称と使用方法

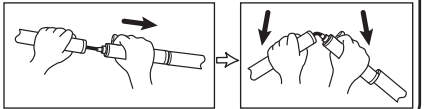


### 収納方法

最初に調節プロテクターを回して緩めます。

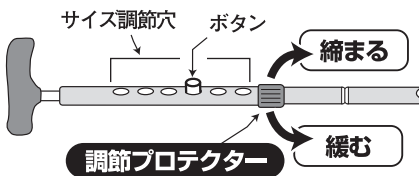
ボタンのある継ぎシャフトを最短にセットした後、下記の方法で収納します。

シャフトの一方を引っ張ると、インナーゴムが伸び、インナージョイントが外れます。そのまま各シャフトを折曲げ、ヒモ等で固定、あるいはケースに収納します。



※モデルによっては図と若干異なる場合もあります。また、改良等のために仕様変更になる場合もあります。

### 長さ調節方法



1. 最初に、調節プロテクターを左方向に回して緩めます。
2. 使い易い長さのサイズ調節穴にボタンを掛けて、長さを決めます。
3. 調節プロテクターを右方向に回して固定します。



## 危険! お取り扱い注意

### ■ステッキ本来の使い方をしてください!

1. 長さが体に合わない時は、使用を中止してください。使いづらい長さは事故の原因となり、危険です。
2. ご使用前に必ず各部の点検をください。万一異常が認められた時は、使用しないでください。《インナーゴムのすり切れ、グリップのキズやヒビ、シャフトのキズ、先ゴムの異常、ジョイントの変形やツブレなど...》
3. グリップ以外の所を持って歩かないでください。また前後に極端に斜めにして使わないでください。危険です。
4. 小石や段差のフチなどに先ゴムを乗せないでください。接地の不安定な状態での使用は危険です。地面に先ゴム全体を乗せ、安定した状態でご使用ください。また、段差にもご注意ください。
5. 道路側溝や凹みのある場所では杖先がはまり込む危険があるので十分注意してください。また、先端を隙間に入れてこじったり、物を突いたり、叩いたりしないでください。
6. 用途以外 (例えば、登山用、護身用等)

には使用しないでください。

7. 柔らかな地面や、雪道、滑り易い所では使用しないでください。止むを得ず使用する場合は、充分注意し、杖だけに頼らず同伴者などの支えを得てください。
8. 雷の音が聞こえたり、落雷の恐れのある時は使用しないでください。危険です。
9. 先ゴムが摩耗したり、破れた時は使用を止め、速やかに交換してください。取替えの際は、専用品を使用し、説明書に従い確実に取付けてください。中途半端な取付けは危険です。
10. 先ゴムは必ず装着してください。外したまま使用すると、小石が挟まったりして非常に危険です。
11. お子様遊び道具にしないようご注意ください。



## 危険!

改造はしないでください。

お客様による修理、分解、改造等は危険なため、絶対にしないでください。



## 注意! 折畳み等の注意事項

1. ジョイント部のヨゴレやゴミ等の付着物は、きれいに拭き取ってからご使用、保管をお願いします。
2. インナーゴムが擦れて、毛羽だちが目立ったり、弾力が弱い場合は使用をおやめください。
3. 高温の場所(暖房器具の近くや夏場の自動車内等)や、低温の場所に放置しないでください。インナーゴムや各部の劣化の原因となります。
4. 使用後は水分汚れ等を拭き取り、屋内の乾燥した場所に保管してください。
5. 寒冷地など低温の場所に折畳んだまま放置すると、使用時にインナーゴムの弾性が回復しない場合があります。このような時は、ゴムの弾性が回復してからご使用ください。
6. 長期間使用しない時は、ゴムの張力を保つため、シャフトは折畳まず、伸ばしたまま保管してください。